

ガザ400以上の標的攻撃

イスラエル軍、南部も空爆

イスラエル軍は2日、イスラム組織ハマスとの戦闘を再開した1日朝以降、パレスチナ自治区ガザ地区で400以上の標的を空爆などしたと発表した。南部の最大都市ハンユニスでも「50以上の標的を攻撃した」としている。▼3面=南部ルボニア

イスラエル軍の攻撃は、7日間続いた戦闘の一時休止と人質らの交換をめぐる双方の合意が、1日朝に期限切れを迎えたのを機に始まった。A P通信によると、ガザ保健省は2日、戦闘再開後00人に上ると発表。10月7日の戦闘開始からの死者数は1万5千人を超えているとしている。

(エルサレム=藤原伸雄)

10月7日のハマスの急襲を受け、イスラエル軍はガザ地区への攻撃を続けてきた。朝日新聞は、衛星画像を使って、ガザ地区の11月22日時点の建物の被害状況を調べた米研究者チームによるデータの提供を受けた。

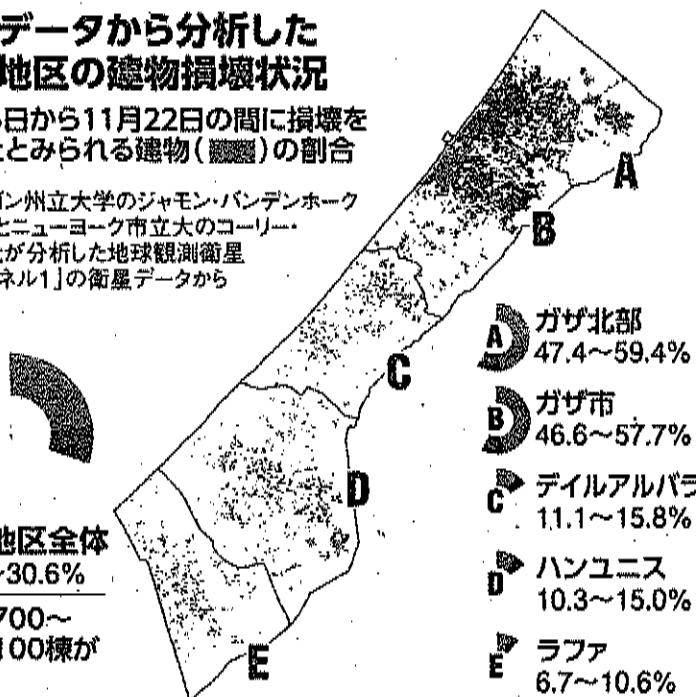
衛星データから分析した ガザ地区の建物損壊状況

10月5日から11月22日の間に損壊を受けたとみられる建物(■)の割合

米オレゴン州立大学のジャモン・パンデンホーク准教授とニューヨーク市立大のコーリー・シェア氏が分析した地球観測衛星「センチネル1」の衛星データから

ガザ地区全体
23.5~30.6%

6万7700~
8万8100棟が
損壊



研究チームによると、ガザ地区全体では24~31%の建物(6万7700~8万8100棟)が損壊したとみられるとい

う。(日高泰緒、加藤啓太郎)

◇
イスラエルとハマスの軍事衝突で、ガザ地区北部の建物の5~6割が破壊されたとする分析結果を、米大学の研究チーム

が、11月28日に明らかにした。
10月7日のハマスの急襲を受け、イスラエル軍はガザ地区への攻撃を続けてきた。朝日新聞は、衛星画像を使って、ガザ地区の11月22日時点の建物の被害状況を調べた米研究者チームによるデータの提供を受けた。

データによると、ガザ地区最北部で47~59%の建物(2万棟以上)が、人口65万人以上の最大都市ガザ市周辺では47~58%の建物が被害を受けたとみられる。